



長尾洵太自選作品展  
“地中海世界と長崎の対比”

## ごあいさつ

私の半世紀に亘るパリでの制作活動、夢中のときの時間の経過が余りにも早いことに驚かされる。時々新作を持って帰国しては、日本各地での展覧会を続けてきた。長崎でもこの50年間に20数回の個人展を催している。

帰国のたびに思うことは、今日の日本の風景（東京や大阪など）を見ると目の中に何か異物が入り込んだようなゴロゴロとした違和感を覚えるのだが、不思議なことに長崎まで辿り着くと、何となくヨーロッパの生活の延長線上にあるかのように穏やかな気分で過ごせるのである。それはやはり、西洋的な概念が日本に最初に辿り着いたのが長崎であったからではないだろうか。ポルトガルはリスボンのアロージョ河を見渡す丘の上に立つと、まるで長崎の南山手の辺りから長崎港を展望した様な風景で、まさしく長崎の祖型がポルトガル人によって造られたことが分かるのである。

1966年、私のパリへの最初の渡航は長崎を出発して横浜からフランス船に乗り込み、スエズ運河を通過するルートであった。長崎を訪れたポルトガル船と同じ航路である。マカオ、マニラ、バンコック、シンガポール、コロンボ、ボンベイ、カイロ、そしてマルセイユに上陸。その後、スペインのバルセロナ、トレドなどを周り、パリに到着。以後、半世紀に亘ってパリを中心にヨーロッパ各地取材しては描き続けてきた。画筆一本の真剣勝負であった。

幸い石造りの建造物はその永い歴史をそれほど風化させることなく、原形を今日に伝えている。二千年前にエルサレムで誕生したキリストの教えの波状が、教会を中心とした街づくりの形やその色彩となって現存している。

そんな地中海世界に広がる雰囲気や長崎の教会群などの風景と対比して観賞していただくのがこのたびの作品展の趣旨である。十分に地中海の風景、雰囲気をご満喫下さい。

EXPOSITION  
DE

# TŌTA NAGAO

2015年6月26日(金) → 7月5日(日)



長崎歴史文化博物館  
Nagasaki Museum of History and Culture

午前10時～午後6時(入館は午後5時半まで、最終日は午後5時閉館)

主催／長尾洵太自選作品展実行委員会

後援／長崎県・長崎市・大村市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・大村市教育委員会・長崎県美術協会

NPO法人長崎市美術振興会・諫早市芸術文化連盟・諫早市美術協会・在長崎ポルトガル国名誉領事館

NBC長崎放送・NIB長崎国際テレビ・NCC長崎文化放送・KTNテレビ長崎・エフエム長崎・長崎ケーブルメディア・西日本新聞社・長崎新聞社

長崎自動車株式会社 TOYOKUN 株式会社 西部川崎 TV5 株式会社 ナカガワ HOKUBU 記念 絵画 館 Holbein ホルベイン工業株式会社

お問い合わせ先／長崎歴史文化博物館 長崎市立山1丁目1番1号 Tel 095-818-8366 Fax 095-818-8407

観覧料／大学・一般 800円 小中高生 無料

平成27年6月吉日 長尾 洵太

# 長尾 洵太

サロン・ドートンヌ会員／ル・サロン(仏国展)会員／ソシエテ・ナショナル・デ・ボザール会員／フランス芸術家連盟会員  
Address:60,Boulevard de clichy 75018 Paris France Tel.01-42-59-47-27

## 主たる画歴(略歴)

- 1938年 東京(杉並)に生まれる
- 1953年 中学最初の担任が画家の新庄拳吾先生(光風会、日展)であった。この頃より油絵を始め、滋賀(県展)、京都(京展)等に数回出品、毎回入選する
- 1960年 西日本、九州写生旅行中、鹿児島県立図書館長時代の作家、椋鳩十氏と出会い、知遇を受ける。その後、没年(1987年)まで師事する
- 1965年 長崎県立美術博物館、鹿児島、小倉等6会場で個人展開催
- 1966年 フランス船(カンボジャ号)で渡欧  
この冬、スペイン(バルセロナ、トレド)で制作活動
- 1967年 パリのギャラリー「マリー・ウイルド」に常設展示される
- 1968年 ●サロン・ソシエテ・ナショナル・デ・ボザールに出品
- 1970年 ●サロン・テール・ラテンに招待出品  
●サロン・アーティスト・フランセーズに出品、銀賞受賞  
●サロン・ドートンヌに出品、会員候補となる
- 1971年 ●サロン・テール・ラテンに招待出品  
●サロン・アーティスト・フランセーズに出品、金賞受賞、会員に推挙される  
●サロン・ドートンヌに出品、会員に推挙される  
●サロン・ド・スーズ92eに出品  
●個人展／マルクスコンストジル画廊(キーナ スウェーデン)  
●個人展／メドボルカルスクール(ポロス スウェーデン)
- 1972年 ●サロン・テール・ラテンに招待出品  
●サロン・アーティスト・フランセーズに出品  
●四人展／Jose Morales, Stojanovic Milorad, Key Hiraga, Tota Nagao  
(於:長崎県立美術博物館)  
●三人展／東京ギャラリーユニバース(東京)
- 1973年 ●サロン・ソシエテ・ナショナル・デ・ボザールに出品、会員に推挙される  
●サロン・デ・アミアンに招待出品  
(於:アミアン美術館)  
●個人展／ギャラリー17(シャンベリー フランス)
- 1980年 ●Les Contemporains (Institut Audio-vioue)現代作家展招待出品
- 1981年 ●個人展／福岡市美術館(福岡)
- 1983年 ●個人展／東京セントラル美術館アネックス(東京)  
●個人展／宇部市文化会館(山口)  
●宇部興産ビル(国際会議場ホール)に600号の大作「エルサレム」を制作する
- 1987年 ●財団法人三宅美術館(鹿児島)に常設展示される
- 1989年 ●織田廣喜・長尾洵太 二人展／ギャラリーなかつみ(大阪)
- 1990年 ●個人展／Galerie Nord-Est(オーベール・スール・オワーズ フランス)  
●エコール・ド・モンマルトル展(Galerie André Roussard paris)(パリ フランス)
- 1991年 ●個人展／A.T.Gallery(パリ フランス)  
●個人展／洋協アートホール(東京)
- 1994年 ●個人展／東京セントラル美術館(東京)
- 1995年 ●Gen-Paulとエコール・ド・モンマルトル展  
(Galerie André Roussard paris)(パリ フランス)
- 1996年 ●個人展／長崎新聞文化ホール(長崎)  
●長尾洵太メモリアルギャラリー(宇部市)に常設展示される
- 1997年 ●在仏30年記念展／アート・ミュージアム・ギンザ(東京)、名古屋、大阪、福岡、札幌等5会場
- 1998年 ●在仏30年記念展／志摩museum(三重)  
●個人展／長崎新聞文化ホール(長崎)、福岡、熊本、鹿児島等4会場
- 1999年 ●織田廣喜・長尾洵太 二人展／ギャラリーなかつみ(大阪)
- 2000年 ●個人展／アート・ミュージアム・ザ・ギンザ(東京)、名古屋、大阪、金沢等4会場  
●自選展／西日本エルガーラホール(福岡)
- 2003年 ●個人展／アート・ミュージアム・ザ・ギンザ(東京)、名鉄百貨店アートギャラリー(名古屋)、大丸・梅田アートギャラリー(大阪)、長崎新聞文化ホール(長崎)、西日本エルガーラホール(福岡)、鹿児島三越美術画廊(鹿児島)、宮崎県立美術館(宮崎)
- 2006年 ●在仏40年記念作品展／長崎新聞文化ホール(長崎)、西日本エルガーラホール(福岡)、鹿児島三越美術画廊(鹿児島)、Bunkamura Gallery(東急文化村東京)、名古屋栄三越特選画廊(名古屋)、大丸・梅田アートギャラリー(大阪)
- 2008年 ●個人展／長崎新聞文化ホール(長崎)、西日本エルガーラホール(福岡)、鹿児島三越美術画廊(鹿児島)
- 2009年 ●個人展／Bunkamura Gallery(東急文化村 東京)、名古屋栄三越特選画廊(名古屋)、大丸大阪梅田店11Fアートギャラリー(大阪)
- 2011年 ●個人展／長崎新聞文化ホール(長崎)、西日本エルガーラホール(福岡)、トキハ美術画廊(大分)
- 2012年 ●個人展／札幌HOKUBU記念絵画館、JR大阪三越伊勢丹美術画廊(大阪)、名古屋栄三越特選画廊(名古屋)
- 2013年 ●個人展／福岡岩田屋三越美術画廊(福岡)
- 2014年 ●個人展／日本橋三越本店美術画廊(東京)、鹿児島県歴史資料センター黎明館(鹿児島)  
現在に至る